

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	技術英語		担当教員	高津正吉（非常勤）	
学年学科	3 年 電気情報工学科		後期	必修	1 単位
学習・教育目標 (C-2) 100%					
授業の目標と期待される効果： グローバルにビジネスが展開されている中で、技術者は諸外国の仲間と意見交換や技術情報を受信・発信する機会が益々増えてきています。これらビジネスシーンでのコミュニケーション手段はほとんどが「英語」です。本教科では、意志疎通のツールとして英語が使えるよう、より実践的な英語を学習します。 1) 聴く力、会話力の向上 相手の話している事を「聴いて」自分の考えや意志を「言葉で」伝える。 2) 読解力、記述力の向上 ビジネスレターや技術情報を「読んで」それに対する自分の考えを「書いて」発信する。			成績評価の方法： 中間試験100点＋期末試験100点＋宿題60点（10点＊6回）とし、総得点率（％）によって成績を評価する。		
			達成度評価の基準： 1) 「学術用語」や「ビジネス用語」を使って自分の考えを表現する能力が向上したか。 【①相手の話している事を聴き取る】→【②自分の考えを「日本語」で考える】→【③自分の意志を自分の「英語」で伝える】を繰り返す事ができる。 2) 「学術用語」や「ビジネス用語」が入ったメールや技術文書を読んで大意を把握し、それに対して自分の意見を言う事ができる。 また、それらをレポートやメールに記述する能力が向上したか。		
授業の進め方とアドバイス：「90分」を3セクションに分けて進めます。 ①宿題の発表とポイント解説 約20分 ②ビジネスシーンを想定した“聴く”と“話す”／技術文の“読解”と“書く”演習 約60分 ③課題（宿題）の提示とその解説 約10分 教科書および参考書：「プリント」を使用する。 参考書・・・実践ビジネス英会話（大島さくら子／スティーブ・バーンズティン ベレ出版 2009年7月） 英文Eメール文例集ハンドブック（倉骨彰、トラビス・T・クラホネ 日本経済新聞出版社 2009年10月30 日） 日本人の英語（マークピータセン 岩波書店 2009 年 9 月 25 日）					
授業の概要と予定：後期					
第 1 回：「技術英語」とは？ 授業の進め方と成績評価の方法解説、参考文献紹介他					
第 2 回：文法の復習 その①（5 文型の構造復習、主部と述部の復習。技術表現①序数・少数・分数の読み方他）					
第 3 回：文法の復習 その②（不定詞、関係詞他の復習。 技術表現②三角関数・指数・微分・積分式の読み方他）					
第 4 回：聴く＆話す（ビジネス模擬シーン 職場で①。 技術表現③数式他の読み方）					
第 5 回：聴く＆話す（ビジネス模擬シーン 職場で②。 技術表現④物理単位を使った文）					
第 6 回：聴く＆話す（ビジネス模擬シーン 職場で③。 技術表現⑤工学単位を使った文）					
第 7 回：聴く＆話す（ビジネス模擬シーン 職場で④）					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：聴く＆話す（ビジネス模擬シーン 職場で⑤）					
第10回：聴く＆話す（ビジネス模擬シーン 身近な話題で立ち話。 技術表現⑥工学単位を使った文）					
第11回：読む＆書く（ビジネス e メール の構造を理解し、読む、書く。 技術表現⑦工学単位を使った文）					
第12回：読む＆書く（ビジネスレターの構造を理解し、読む、書く。 技術表現⑧工学単位を使った文）					
第13回：読む＆書く（技術情報・技術ジャーナルの読解 その①。 技術表現⑨誤差・精度を表す文）					
第14回：読む＆書く（技術情報・技術ジャーナルの読解 その②）					
第15回：読む＆書く（新聞・雑誌記事の読解）					
期末試験					
第16回：フォローアップ					